

生徒全員に「iPadmini」を無償貸与

第一学院高等学校



いつでもどこでも、すべての授業を受講可能。最新の脳科学の研究成果を活用し、生徒をプラス思考に変える独自の教育「EMS」で知られる、広域通信・単位制高等学校の第一学院高等学校(生駒富男理事長)は、今年4月から約4800人(平成27年2月時点)の生徒全員に「iPadmini」を無償貸与。必要な授業のすべてを、好きな時に好きな場所で自由に受講できる体制を整えた。

EMSをベースにICT教育を推進

同校は「1/1(いちぶんのいち)の教育」を教育理念とし、昨年12月末時点で全国に55キャンパスを展開する広域通信・単位制の高等学校。創立当時から「生徒第一」の想いを最重視し、一人ひとりの状況やライフスタイルに合った学習スタイルを提案している。「高校卒業後の長い人生を、プラス思考で前向きに有意義に過ごしてほしい」と、「やる気がでない」「苦手だな」といったマイナスのセルフイメージをリセットし、プラスのセルフイメージを定着させることで、生徒の「もっともっと自分を好きになる」「自分づくり」を推進し、社会で活躍できる人づくりに取り組んでいる。

目指すのは分かりやすく楽しい授業

通信制高等学校の平均値56・6%よりも高い実績を誇っている。同校が「iPadmini」を導入し本格的にICT教育に取り組みむ背景には、「EMSをベースとしたICT教育の推進によって教育効果を飛躍的に高め、生徒の「学習意欲の向上」と「学力の定着」を図るため」(同校)。文字だけでなく、映像や音声などを積極的に活用することで、より分かりやすく、より楽しい授業の展開を目指す。では具体的に、学びのスタイルはどのように変化するのだろうか? 「疑問点はすぐ調べられたい、講義の視聴やレポートの作成がどこでもできたい。自分に即したペースで理解を深めていくことが可能となります」と導入効果について話す。

一人ひとりの理解度に合わせた学習が可能に

まずは学校での学習だ。タブレット端末を使うことで例えば対面授業では、写真や動画などを使ってリア

「学習意欲向上」と「学力定着」を促進

ルなイメージを持って学ぶことができるほか、情報収集をしたり、学習成果の発表資料を作ったり…。生徒一人ひとりの興味と理解度に合わせた学習が可能となる。「また、全国のキャンパスにインターネット配信される授業をモニターで受講。アニメや美容など生徒の興味がわくさまざまな講座の進捗管理や学校からの連絡事項をいつでも確認できるようにするため、より安心していただけると思います」と同校。さらに、収録講義を視聴しながら自分のペースで自主学習を進めることも容易となるため、着実に学力のレベルアップが目指せるほか、担任が生徒の学習の進捗や理解度を把握しやすくなり、これまで以上に理解に応じたきめ細かな指導も可能となる。

コミュニケーション力の向上も

また学校外での学習も大きく変化する。タブレット端末を使うことで、多くの情報を収集。映像を共有し



生徒の理解度を把握し、きめ細やかに指導

ICT活用によって深化する、第一学院の学びのスタイル

学校での学習

双方向での授業によって理解が深まり、学習への関心や意欲を高めることができる。

- 対面授業**
写真や動画などのコンテンツを見るほか、情報収集をしたり、学習成果発表の資料を作ったり、一人ひとりの興味や理解度に応じてタブレット端末を使用。
- ライブ配信授業**
全国のキャンパスにインターネット配信される授業をテレビモニターで視聴。教員への質問や小テストの回答等にタブレット端末を使用。
- 収録講義の視聴、レポートの作成・提出**
タブレット端末を使用して、授業や自主学習で収録講義を視聴したり、レポート作成の指導を受けられる。

学校外での学習

地域社会との関わりで、将来の自分への関心が深まります。

- 地域と関わる授業**
職場観察等の授業で、お店の方へのインタビュー・地域の歴史の調査等にタブレット端末を使用。その場で資料を作成し、共有することも可能に。

自宅での学習

いつでもどこでも学習が進められます。

- レポートの作成・提出、授業の視聴**
レポートの作成・提出、授業の視聴のほか、興味・関心に応じた学びにタブレット端末を使用。

保護者の方にも安心のシステム

- タブレット端末内で学習状況が一括管理。お子様の学習状況を知ることが可能
- メールアドレスを登録することで、お知らせが保護者にも送られる。学校行事等のスケジュールを把握するのに便利
- 授業の中で、タブレット端末を使って写真や動画を撮影したり、発表資料を作成。学校生活の様子をより詳しく・リアルに感じられる